

## メッセージアウトライン

日付	2016年2月14日
単元	マタイの福音書・2
テーマ	みことばを素直に受け入れ、実を結ぶ者となる
タイトル	良い地に蒔かれた種
テキスト	マタイ13:1～9、18～23
参照箇所	マルコ4:1-20、ルカ8:4-15
暗唱聖句	マタイ13:23 or マルコ4:20

<b>導入</b>	イエスさまは、人々に大切なことをお教えになるとき、「たとえ」を使ってお話になることがありました。
<b>I</b>	<b>イエスさまは種蒔きのたとえ話をされました(1-7節)</b> A. 道ばたに落ちた種は、鳥に食べられてしまいました B. 岩地に落ちた種は、深く根をはることができず、かれてしまいました C. いばらの中におちた種は、いばらに邪魔されて成長できませんでした
<b>II</b>	<b>イエスさまは種蒔きのたとえ話の意味を教えてくださいました(18-22節)</b> A. 道端は、悪魔が来てみ言葉をとってしまう心をあらわしています B. 岩地は、みことばをきいても、困難や迫害があると、すぐに従わなくなってしまう心をあらわしています C. いばらの中は、誘惑があるとすぐに負けてしまう心をあらわしています
<b>III</b>	<b>良い地に蒔かれた種は実を結びます(8、23節)</b> A. 良い地に落ちた種は、100倍、60倍、30倍に実りました B. 良い地は、みことばを素直に信じて行なう人の心を表しています C.
<b>結論</b>	<b>みことばを、素直な心で聞いて行なう人は、実を結びます</b>
<b>適用</b>	みことばを素直に受け入れる「良い地」になろう！あなたの心は、4つの地面の様子のうち、どれに近いでしょうか？いつも、礼拝のメッセージをどんな態度で聞いていますか？また、日曜日以外、教会にいる時以外にも、みことばを思い出し、従っていますか？私たちの心は弱いですから、みことばを聞いても、すぐに忘れてしまったり、従おうとしても、困難があるとすぐに飽きたり、いやになったり、面倒になってしまったりします。また、教会の中では、みことばに従っていても、学校のお友だちの前では、イエスさまのことをあと回しにしてしまったりしてしまいます。でも、それでは、どんなにすばらしいみことばを聞いても、実を結ぶことができません。礼拝で聞いたメッセージが、実を結び、あなたの人生が何倍にも祝福されるように、「良い地」になりましょう。みことばを素直な心で受け入れ、日曜日以外もいつも思い出す習慣をつけましょう。毎日、自分で聖書を読んでお祈りするディボーションにチャレンジしましょう。どうやったら、そのような習慣が身につくか、みんなでアイデアを出し合って工夫しましょう。
<b>備考</b>	

